

170201警備業における死傷災害事例(最大99事例まで) (2020年)

No	年	月	発 生 時	死傷災害事例	年 齢	事 故 の 型	起因物 (小)	労働 者規 模
1	2020	1	7 ～ 8	ビルの食堂で清掃（掃除機掛け）作業中、テーブル下の掃除機掛けのために引いた椅子の脚につまずいて転倒し、左肩を強打して亀裂骨折した。	76	2	379	300 ～ 499
2	2020	1	7 ～ 8	流通センター金庫室内で、台車を移動している際、台車を倒して左足が台車に挟まれ、左踵を骨折した。	48	7	362	50～ 99
3	2020	1	16 ～ 17	交通誘導の業務中、道路上にて、車を避けようと後方に下がったとき、ブロックにつまずいて転倒し、地面についた左手を骨折した。	76	3	417	30～ 49
4	2020	1	7 ～ 8	規制作業中、歩いていたときに転倒し、左手と左胸を打撲した。	60	2	417	10～ 29
5	2020	1	0 ～ 1	ショッピングセンターの夜間巡回中、地下1階のワックス掛け直後の床で足を滑らせて転倒し、左膝に打撲を負った。	34	2	416	30～ 49
6	2020	1	14 ～ 15	納品場付近で回収したバッグ1個を警送車両に向け運搬している際、地面の段差につまずき前のめりに転倒して右膝蓋骨を折った。	65	2	417	300 ～ 499
7	2020	1	19 ～ 20	次の現場へ移動の際、当日の悪天候に伴う強風に体があおられ、よろめき歩道上で転倒し、右肩を骨折した。	80	2	418	100 ～ 299

25	2020	3	7 ～ 8	入港してきたフェリーを係留する際、ロープを引き込む作業中、バランスを崩して転倒したため、左大腿骨を折った。	57	2	416	100 ～ 299
26	2020	4	9 ～ 10	バケット車付近で、一人片側交互通行を実施中、一般車両通過に伴い、バケット車側に移動したところ、足がもつれて転倒し、上唇、左手薬指、左膝に擦過傷および左膝に打撲を負った。	57	2	921	30～ 49
27	2020	4	10 ～ 11	駅ホーム改修工事に伴う交通誘導警備中、駅構内の看板につまずいて転倒した際、顔と左半身を強打し、左肋骨を折った。	76	2	417	30～ 49
28	2020	4	4 ～ 5	夜間水道工事現場の交通誘導警備の業務中、作業員の運転するパワーシャベルが後進したとき、被災者が死角（右後方部）に立っていたため気が付かず、キャタピラに左足首が轢かれ骨折した。	43	6	142	30～ 49
29	2020	4	8 ～ 9	国道の側溝で、車線規制をしながら清掃をしていた際、清掃箇所を移動するごとに規制を徐々にずらす必要があった。資器材（矢印板）を両手に1枚ずつ持ち、右手には大きな徐行旗も持ち、道路に引きずりながら運んでいた。その際、旗を踏んで転倒し、左膝を道路に強打して左膝蓋骨にひびが入った。	66	2	379	1～9
30	2020	4	16 ～ 17	店舗地下1階で立哨業務から巡回業務を行うため歩き出したとき、電気が走ったような感覚があり10分程度歩いたが痛みが激しくなり業務を中断した。後日、右足関節内側靭帯損傷と診断された。	21	19	921	500 ～ 999
31	2020	4	16 ～ 17	道路沿いで、植木の剪定作業中、道路の片側通行整理を行っていた際、居眠り運転の貨物トラックに跳ねられて、頭部・鎖骨・肋骨・骨盤を折った。	61	17	221	50～ 99
32	2020	5	19 ～ 20	リハビリテーション病院駐車場で巡回警備中に、駐車場の車止め に左足のつま先を引っ掛け、前方へ転倒したため、左肘を打ち、 左橈骨頭を折った。	76	2	417	100 ～ 299
			15	自転車で巡回途中、車道から歩道に乗り上げようとした際、車輪				10～

33	2020	5	16	～	が段差で滑って転倒し、右肘を打撲および左足脛に擦過傷を負った。	66	2	362	29	
34	2020	5	5	4	～	警備巡回業務中、下り坂を歩行中に右足を捻挫した。	55	2	911	30～ 49
35	2020	5	23	22	～	敷地内巡回警備のため自転車で出勤した際、転倒して後頭部と肩を強打した。その際、ヘルメット着用義務を怠ったので、後頭部に擦過傷を負った。	65	2	362	1～9
36	2020	5	14	13	～	店舗で、周辺警戒を実施中、段差につまずき転倒した。このとき、右足首をひねり、右第5中足骨を折り、右足関節靭帯を損傷した。	33	2	417	300 ～ 499
37	2020	5	12	11	～	現場で、到着した生コン車の折り畳まれたシュートを開けた際、シュートの先端が隣の生コン車後部ステップに掛かり、そのまま車が前進した。そのため、シュートが被災者側に動いて接触し、バランスを崩して転倒した際に腹部（内臓）に損傷を負った。	64	2	229	1～9
38	2020	5	16	15	～	軽トラックの助手席に同乗して帰社途中、運転者が運転を誤ったため田んぼに転落し、腰を打って腰椎を骨折した。	69	17	231	50～ 99
39	2020	5	10	9	～	巡回警備中、婦人服売場でラックの真上にある煙感知器を取り替える際、高さ40cm程の椅子を台にして背伸びをしたところ、ラックに股が引っ掛かり転倒し、股関節に創傷を負った。	58	3	391	100 ～ 299
40	2020	6	11	10	～	工事現場の何も無いところで転倒し、額、肘、膝を打撲し、額の出血が止まらず、頸椎症性脊椎症が発覚した。転倒は無症状ではあるが、頸椎症性脊椎症に起因して足がもつれて発生したと考察する。	72	2	417	50～ 99
41	2020	6	～	11	～	誘導業務中に歩道脇の側溝を踏んだ際、蓋が開いていて足が挟まり、転倒した際、左下腿挫傷創を負った。	45	2	417	300 ～

			12						499
42	2020	6	17 ～ 18	配水小管布設替工事現場で、歩行者誘導の業務を行っていたところ、道路上の段差につまずいて転倒し、右半身から地面に体を強く打ち、右足大腿骨を折った。	77	2	417		30～ 49
43	2020	6	14 ～ 15	伐採作業の警備中、次の木の所へバイクで移動していたところ、気分が悪くなって転倒し、熱中症を発症した。	68	11	715		30～ 49
44	2020	6	14 ～ 15	トンネル内で、同僚が運転するトラックの助手席に同乗していた。工事規制内を後退していた際、運転者が後方確認を怠ったため停車中の工事車両に衝突し、頸椎捻挫を負った。	24	17	221		100 ～ 299
45	2020	6	22 ～ 23	キャスター付きの椅子に上がって、エアコンフィルターを清掃していた際、椅子が動いたため落下して左肘を骨折した。	56	1	379		1～9
46	2020	7	15 ～ 16	警備業務に従事中、足の痙攣並びに体のだるさを感じ、熱中症を発症した。	64	11	715		50～ 99
47	2020	7	11 ～ 12	車両誘導業務に従事中、コーン標識を動かすため、道路中央部を移動していたところ、切削地面の凹凸に足を取られ、バランスを崩しよろけた。その際、後方よりバック移動してきたミニタイヤショベル（全長4.3m、幅1.7m、時速約5km）の作業範囲に入り、右足を踏まれ右前足部多発骨折を負った。	65	7	141		50～ 99
48	2020	7	22 ～ 23	夜間巡回勤務中、外部巡回見回りをしていたところ、芝生部分に隠れていた石を踏み、バランスを崩して転倒し、右足首を捻挫した。	53	2	417		300 ～ 499
49	2020	7	6 ～ 7	検査場で、検査が必要な手荷物（キャスターバッグ）をベルトコンベアのトレイから下ろそうとしたところ、腰に痛みを感じ、腰椎椎間板ヘルニアを発症した。	19	19	611		300 ～ 499

58	2020	8	8 ～ 9	交通監視業務中、通行車両が途切れたタイミングで、路肩を全力で走ったところ、左脛に肉離れを起こした。	55	19	921	50～ 99
59	2020	8	13 ～ 14	水道管布設工事現場で警備中、日中の気温が高く気分が悪くなり、熱中症を発症した。	27	11	715	10～ 29
60	2020	8	10 ～ 11	上水道引き込み工事現場で交通誘導警備中、場所を移動していた際、左足をひねって骨折した。	58	19	921	30～ 49
61	2020	8	13 ～ 14	工事現場で移動中、歩道の段差につまずいて転倒し、第7胸骨を折った。	51	2	419	50～ 99
62	2020	9	8 ～ 9	路上にて警備員3名で片側交互通行誘導を行っていた。接近してきた車両へ車線変更誘導を行いながら対向車がないか対向車線側を振り向いたときに、よそ見をしていた車両に跳ね飛ばされ、右前額部裂傷、両膝両足首擦過傷、右手中指亀裂骨折を負った。	50	17	231	10～ 29
63	2020	9	19 ～ 20	社内ラグビー所属社員が試合形式の練習で、ボールを持った選手に右肩でタックルしたとき、右肩から地面に落ち、右肩関節脱臼を負った。	23	3	921	30～ 49
64	2020	9	7 ～ 8	扉の開錠作業を終え、防災センターに戻る途中、下り階段の最後の1段を踏み外し転て倒し、左手関節および右足関節を捻挫した。	53	1	413	100 ～ 299
65	2020	9	15 ～ 16	警備中に、現場事務所で休憩を取り終えて、警備場所に向かおうとしたところ、階段で足を滑らせて転倒し、地面に背中を強打ち、肋骨を折った。	68	2	413	100 ～ 299
66	2020	9	19 ～	工場を巡回中、床面にあるパイプを跨ごうとしたところバランスを崩し、左足を着いた際、左膝関節捻挫を負った。	49	19	417	50～ 99

			20					
67	2020	9	20 ～ 21	駐車場で作業中、ブロック段差につまずき、左足関節外側側副靭帯損傷を負った。	40	3	417	300 ～ 499
68	2020	9	2 ～ 3	市場構内1階、青果塵処理室前の通路で、車両の積み荷点検誘導作業中、バックしてきたフォークリフトと接触し、転倒して轢かれ、左足首を骨折し、右膝などを負傷した。	61	7	222	100 ～ 299
69	2020	9	0 ～ 1	路上電気工事に伴う片側交通警備作業中、停止させようとした通行車両に撥ねられて転倒し、背中に打撲、左後頭部に裂傷を負った。	54	17	231	50～ 99
70	2020	9	17 ～ 18	車のバックドアを開け、障害業務の指令を受けた箇所の鍵を取り出し、バックドアの左側に立ち、片手でドアを勢いよく閉めた際、右側前頭部にドアの端が接触して挫創を負った。	46	6	231	50～ 99
71	2020	10	11 ～ 12	ケーブル新設工事作業中、移動しながらの交通誘導中に左側にある蓋のない側溝に気が付かず、右足から落ちてバランスを崩し、捻挫した。	55	1	418	50～ 99
72	2020	10	16 ～ 17	規制の撤去中車両に乗り込むとき、側面に設置してあるガードレールに右足をぶつけ、右脛骨を折った。	34	3	419	50～ 99
73	2020	10	17 ～ 18	就業場所での立哨警備業務終了後に事務所へ戻っていたとき、来客待機車両が続いていたため同僚警備員のフォローを行おうと、来客待機車両後方へ移動したところ、植栽を横断したとき、車道横の縁石上の道路に膝から転落し、左膝に内出血を負った。	25	1	417	100 ～ 299
74	2020	10	14 ～ 15	バイクで待ち合わせをしていた場所に到着し、誘導業務のため、車道から緑地帯を横切るとき、木の根につまずき転倒した。その際、顔面左側目上部に切傷および左腕に打撲傷を負った。	47	2	712	100 ～ 299
			15					50～

75	2020	10	16	出入口の扉を閉める際、側溝にはまり、左大腿骨を折った。	76	1	418	99
76	2020	10	17 18	交通誘導終了後、自車に小走りで戻る際、支柱に気付かず、胸を強打し、胸部を骨折した。	49	3	417	30～ 49
77	2020	10	8 9	スーパー店舗で、開店のため店のシャッターを上げたとき、ぎっくり腰のような痛みが走り、腰椎捻挫を負った。	71	19	921	100 ～ 299
78	2020	10	23 24	警備員として、県道で水道工事による片側交互通行の誘導をしていた際、時速60kmで走行してきた軽ワゴン車に撥ねられ、出血性ショックで死亡した。	72	17	231	30～ 49
79	2020	10	14 15	警備業務を終え、車から降り事務所へ戻る際、車止めにつまずき、右足関節外果骨折、左膝打撲、捻挫を負った。	34	3	417	50～ 99
80	2020	10	1 2	警備指令を受け待機所から出て、階段を下りていたとき踏み外し、3段程下で体勢を保とうとした際、左脛骨・腓骨を折った。	37	1	413	100 ～ 299
81	2020	10	17 18	左車線を走行中、原付の足下に置いていた荷物がずれ、それに気を取られて原付ごと左側端に転倒し、左手背部と左顔面を打撲し、擦過傷を負い、右環指中手骨を折った。	48	17	231	100 ～ 299
82	2020	11	1 2	小学校の警備システムの異常確認で外周を点検中、落ち葉に隠れた杭状の木材に足を乗せてバランスを崩して転倒し、右足関節捻挫を負った。	44	2	522	50～ 99
83	2020	11	21 22	中学校で、警備システムの異常対応で外周点検中に、高さ70cmの側溝に気付かず落下し、右足小指を骨折した。	68	1	418	10～ 29
			10	大使館勤務中、駐車場のスロープゲートの鉄扉が閉まらなくなっ				1000

84	2020	11	～ 11	たため、手動にて開放するため移動した際、大使館敷地と公道の 段差に足を取られ、左第5中足骨を折った。	68	2	418	～ 9999
85	2020	11	～ 22 23	路上で歩行者誘導の業務中に、車道と歩道の段差部につまずいて 転倒し、右膝に打撲および挫創を負った。	36	2	417	—
86	2020	11	～ 17 18	現場で、交通誘導業務後、移動車両の助手席に乗車する際、雨水 集水枥（縦100cm、横70cm、深さ250cm）で左足が滑り枥内に落下 した。その際、枥内で右目上部が当たり、瞼、眉、額に切傷を 負った。	66	1	418	30～ 49
87	2020	11	～ 4 5	工事現場で、工事用車両を通すため、通行止め看板がある方に移 動中、側溝に気付かず、左足が落下し、骨折した。	72	1	418	30～ 49
88	2020	11	～ 5 6	警報出動指示を受け、待機所よりパトロール車両で出動し、国道 を走行中、対向車線をはみ出した対向車と正面衝突し、腸内薄膜 血種、左薬指骨折を負った。	23	17	231	50～ 99
89	2020	11	～ 9 10	カントリークラブ裏手の屋外階段で、ブロワーを使い落ち葉を掃 除していたところ、7～8段目あたりで転落し、頭部に切傷、胸椎 圧迫骨折を負った。	67	1	413	1～9
90	2020	11	～ 17 18	工事現場で交通誘導中、夕方通行止めの規制が解除になり資機材 の片付け中、ユンボを運転していた同僚との確認を怠り、キャタ ピラの動線上に左足先を入れてしまい、左足拇指を踏まれ、圧挫 傷・爪下血腫を負い、末節骨を折った。	31	6	141	100 ～ 299
91	2020	12	～ 10 11	高等学校で巡回中、氷の張っている階段の踊り場で足を滑らせ、 下り階段をやや仰向けの状態で滑り落ち、左第10肋骨、第11胸 椎、第1腰椎を折った。	54	1	413	10～ 29
92	2020	12	～ 7	工場で路上にごみが落ちているのを発見し、急いで外へ出た際、 警備室と道路との段差に気付かず足を踏み外し、バランスを崩し	57	2	418	100 ～

			8	て尻もちをつくような姿勢で路上に倒れ、第9胸椎圧迫骨折を負った。				299
93	2020	12	7 8	自宅から自転車で会社に到着し、自転車を止めて急いでトイレに行くときに、車止めにつまずいて転倒し、左膝を強打し、尻もちをつき、胸椎および左膝蓋骨を折った。	76	2	417	1~9
94	2020	12	17 18	駐車場入口前歩道で誘導業務実施中、車両を誘導するため、移動しようとしたところ、歩道上点字ブロックにつまずいて転倒し、右膝に打撲傷を負った。	56	2	419	50~ 99
95	2020	12	10 11	スキー場のゲレンデ中腹で、スノーボードインストラクターとしてスキルアップトレーニングをしていた。その際、滑走者を避けようとして転倒し、右膝半月板・前十字靭帯・側副靭帯を損傷した。	25	2	417	10~ 29
96	2020	12	17 18	警備業務後、車に戻る際、路肩の溝に足が入り転倒して、左膝蓋骨を折った。	65	2	418	50~ 99
97	2020	12	7 8	工事現場内を歩行中、下に鉄板が敷いてあり、前に階段がある場所で転倒し、手摺りに目（顔）が接触して負傷した。	78	2	413	100 ~ 299
98	2020	12	11 12	交差点の工事現場で、軽トラックの荷台に載せていたケーブルドラムを降ろすのを手伝っていた際、荷台でバランスを崩して飛び降りたところ、足場が悪く右足首をひねって骨挫傷を負った。	46	3	221	50~ 99
99	2020	12	20 21	立体駐車場で、定時巡回中にアスファルトの段差でつまずき、顔から転倒しそうになり、右手でかばったが右膝に打撲捻挫を負い、右橈骨遠位端を折った。	71	2	417	30~ 49

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.html(職場のあんぜんサイト)

参考：[労働災害の分類の概要](#)

[各小業種における死傷災害事例\(最大99事例まで\) \(2020年\)](#)に戻る。

